

入塾案内

Ayumu Gakusya

小 中

5教科
指導

高

漢検

英検

新型個別 歩夢学舎

あゆむがくしゃ

検索 

「もっと勉強したい！」 その声にヒミツあり!!



歩夢学舎 6つの特徴！

1

『家庭学習の「見える化」で家の勉強をしっかりサポート』

当たり前のことですが、成績は、勉強のやり方が正しければ、学習量に比例します。通塾時間だけでは物理的にも時間的にも学習量の限界があります。家庭学習の習慣をつけ、家庭学習の量を増やすことが成績向上に直結する重要なポイントです。歩夢学舎の指導は、ご家庭で、いつ、何を、どれくらい勉強し、その結果どうだったのか…。これら情報をしっかりと把握しながら見守り、家庭学習までサポートします。

家庭学習の「見える化」		家庭学習の「見える化」	
家庭学習の「見える化」	家庭学習の「見える化」	家庭学習の「見える化」	家庭学習の「見える化」
家庭学習の「見える化」	家庭学習の「見える化」	家庭学習の「見える化」	家庭学習の「見える化」
家庭学習の「見える化」	家庭学習の「見える化」	家庭学習の「見える化」	家庭学習の「見える化」
家庭学習の「見える化」	家庭学習の「見える化」	家庭学習の「見える化」	家庭学習の「見える化」

2

「理解」と「定着」を一体化

その場でわかっただけでは、本当の学力を身につけたとはいえない。わかったことを、何度も解いてみて初めて、学力の定着につながります。歩夢学舎の指導は、各単元を超スモールステップで構成し、「根本理解（わかった！）」を促す授業と、理解したことを「定着（できた！）」させるため、苦手とされた問題を繰り返し学習する演習が基本です。

3

理解度に応じて、一人ひとりに合った授業と問題

勉強が嫌になる理由のひとつは、「難しすぎる」あるいは「簡単すぎる」授業や問題に取り組まなければならぬことです。歩夢学舎では理解度に合わせて、個別にカスタマイズされた授業を行います。「簡単すぎず、難しくない」授業と演習だから、学力レベルに関係なく、生徒は達成感と自信を感じながら学習できます。

4

「学力診断テスト」を元にした、生徒一人ひとりの学習カリキュラム

ほとんどの場合、ある問題が解けない理由は「わからない」以外の何ものでもありません。限られた時間の中で、学力を身につけるためには、効率的な学習が必要です。効率的な学習方法の1つとして、「わかっていること」と「わかっていないこと」の区分けが必要です。生徒一人ひとりの「わかっていること」「わかっていないこと」をスモールステップまで分析するために、「学力診断テスト」を行います。専任の学習プランナーが「学力診断テスト」を元に、一人ひとりの学力や学習ペース・個性に合わせて、学習カリキュラムと勉強法を提案します。

学力診断テスト		学力診断テスト	
学力診断テスト	学力診断テスト	学力診断テスト	学力診断テスト
学力診断テスト	学力診断テスト	学力診断テスト	学力診断テスト
学力診断テスト	学力診断テスト	学力診断テスト	学力診断テスト
学力診断テスト	学力診断テスト	学力診断テスト	学力診断テスト

5

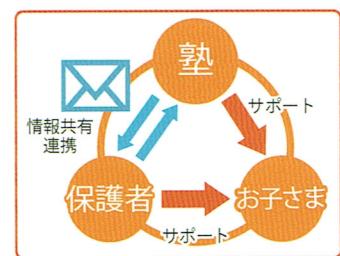
柔軟な時間割

生徒たちは、部活や学校行事などで、とても忙しくしています。無気力な生徒の原因は、時間的なゆとりのなさが気持ちのゆとりを奪い、気力を無くしてしまうケースをよく見かけます。健全な学習環境を作るために、その時の生徒の状況に合わせて、柔軟な時間割を決めています。そうすることで、無理なく学習時間を確保することができます。

6

保護者と塾とのコミュニケーションで最高の学習環境を構築

私の経験則ですが、両者が情報を共有し、良好な関係を築いたご家庭では、奇跡と言われる伸びをした生徒が数多くいました。歩夢学舎は、生徒の学力はもちろんのこと、心の成長をも、より高く向上させたいと考えています。そのためには、良いことも悪いことも、できる限り共有させていただくためのご協力をお願いしています。当塾からは、保護者の方へ学習内容の状況、生徒の様子など気になったことをメールでご報告させていただきます。そして保護者の方からも、家庭での様子や気になることをメールや電話でいただきたいと思っています。



“勉強が好きになる”3つの隠し味！

わかった！

できた！

うれしい！

ほとんどの場合、ある問題が解けない理由は「わからない」以外のものでもありません。しかし、なぜ「わからない」のか、本当はそこに理由があるはずです。これを曖昧なまま進めてしまうと、どんどん「わからない」が蓄積され、解けない問題が増えていき、勉強が嫌になるという悪循環に陥ってしまいます。

当塾では、超スマルステップで授業を進めていくため、まずは、「わからない」を作りません。さらに「わからない」ができても、すぐにその理由や原因をしっかりとつきとめます。小さな「わかった！」を積み重ねることで、お子さんに喜びと自信が生まれます。

勉強の内容を理解しただけでは、成績は上がっていきません。ではどうすれば成績が上がっていくのでしょうか。

その答えは徹底した反復練習による「定着」！「わかった！」という理解の後に、演習問題でその知識を定着させ、「できた！」という状態にする必要があるのです。当塾では、生徒一人ひとりの進捗度合や理解度に合わせて、じっくり時間をかけて、繰り返し、できるまで演習を行います。苦手がある場合は、その「根本原因」を探り、そこに戻つて教え直すこともあります。

このようなマンツーマンの指導の結果、すべての知識が定着し、「強い学力」が蓄積されていきます。

勉強がイヤになる理由のひとつは、「難しすぎる」あるいは「簡単すぎる」問題に取り組まなければいけないということ。誰でも、自分にとって難しすぎる問題ばかり出ると途中でイヤになって挫折してしまいますし、簡単な問題ばかりやっていても一向に実力はつかず、成績は上がりません。

当塾では、一人ひとりの理解度に合わせて丁度いい難易度の問題をご用意いたします。学力レベルに関係なく、「簡単すぎず、難しすぎない」問題を解くことができるため、すべてのお子さんが、達成感を感じ、自信を深めながら、学習を進めていくことができます。

こんなお悩みありませんか？ 歩夢学舎がお答えします！ 解決します！

Q. 学校や塾での集団型の授業についていけない

A 集団型授業は、「教務カリキュラムに沿って教えること」が前提です。また先生も一定レベル以上の理解度を求めた授業を行います。わかつている内容を飛ばすことができない、わからない箇所があっても質問できず授業が進む、俗にいう「浮きこぼれ」「落ちこぼれ」が必ず起きます。集団型授業でマッチする数は、先生の力量を問わず、どのクラスも30%前後です。そのため、生徒間で大きく学習効果の差が出てしまいます。

Q. 個別塾の1対1、1対2授業では成果が出ていない

A 個別授業の場合でも、成果が出ないケースがあります。その理由の1つは、個別指導は先生に「わからなかったらすぐ聞く」ことができてしまい、それが習慣づき、自ら解く力を養い切れてないことです。テストには先生は隣にいません。自ら考えて「なぜ？なぜ？」を繰り返し理解し、できるようになっていくのです。もう1つは、個別指導は多くの先生に指導されるので、先生の指導スキルや個性に、生徒が戸惑ってしまうからです。あっちの先生にはこう言われたけど、こっちの先生にはこう言われたといった具合です。

Q. 勉強のやり方がわからず、定期テストの点数が上がらない

A 勉強のやり方がわからない生徒は、「物事の整理の仕方」が苦手なタイプが多いようです。例えば、定期テスト前までに、3週間前、2週間前、1週間前にそれぞれどの状態にしておくか、何をすべきかを整理できていないケースが多く見受けられます。また、例えば数学でも、ある単元を理解する為には、まず何と何を勉強しなければ、その単元を理解することが難しいのか、なども同様です。

Q. 定期テストの点数は良いが、外部模試では点数が取れない

A 学校の定期テストは、教科書や学校指定の問題集、先生から渡されるプリントからの出題が8割以上です。そのため、テスト前にある程度覚えられれば、そのまま点数に跳ね返ってきます。しかし、外部模試は、テスト範囲も広く、問題のきき方も多岐に渡ります。何を求められているのか、今まで習ってきたどの考え方を使えば良いか、一致させることができないのです。

Q. とにかく勉強する気がない

A 生まれながらにして勉強が嫌いな子はいません。手間のかからない子・かかる子、覚えの良い子・悪い子、100点のテスト・20点のテスト、すべてが個性で決して優劣ではないのです。大人にとって都合の良い子にするのではなく、その子が「勉強は自分の未来に必要なもの」と自覚し、その個性に大人が寄り添うことこそが、可能性を大きく伸ばします。勉強嫌いと言われていた子が、嬉々として勉強する姿を数多く見ました。英語が嫌いと言っていた子が、「商社で英語を使った仕事がしたい」と言うことも聞きました。

